

J R 磐越西線会津若松駅から喜多方駅間の非電化計画の
撤回を求める決議

J R 磐越西線は、昭和42年に郡山駅から喜多方駅間が交流電化され、住民生活の利便性向上はもとより、労働者の輸送にも大きな役割を果たし、会津地方の観光のみならず、通勤・通学輸送を含めた、地域振興に必要な社会基盤としての役割を担っている。

このような中、令和3年8月3日開催の本市議会全員協議会において、市当局より、東日本旅客鉄道株式会社から、新型コロナウイルスの影響等による大幅な利用者減少に伴う厳しい経営環境を理由に、令和4年度から、当該路線の会津若松駅から喜多方駅間の電化設備の撤去に着手し、その後は非電化により列車の運行を図る計画が示されたと、説明があった。

前触れもなく突然に示された計画と言わざるを得ず、この計画では、全車両での会津若松駅乗換えになり、郡山駅から喜多方駅間の直通列車が無くなり、電車から気動車へ切り替わることによる所要時間や乗換えに伴う待ち時間が増加し、現に通勤や通学、観光等で利用している人々の利便性が大きく損なわれるだけでなく、イベント列車の乗り入れが制限されるなど、会津地方全体の誘客活動にも大きく影響するものであり、鉄道網の機能低下による地域や産業の活力低下などの影響が大変危惧されるところである。

よって、本市議会は、この計画を断じて容認できるものではなく、東日本旅客鉄道株式会社に対し、会津若松駅から喜多方駅間の電化設備の撤去と非電化による列車運行計画の撤回を強く求めるものである。

以上決議する。

令和3年9月16日

喜 多 方 市 議 会